

令和4年度 病院事業会計決算概要について

1. 令和4年度決算の概要

令和4年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という)への対応として、入院患者の受け入れやワクチン接種への協力等に取り組んだ。また、一般診療については、入院単価の上昇や外来患者数の回復などにより医業収益が増加し、病院事業庁全体では令和3年度に続き2年連続の黒字決算(純利益 1,694百万円)となった。

(1)患者数(病院事業庁全体)

	令和4年度		令和3年度		患者数増減	
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	人数	増減
入院	178,541人	489.2人	181,732人	497.9人	△3,191人	98.2%
外来	267,389人	1,100.4人	261,030人	1,078.6人	6,359人	102.4%

(2)決算の状況(病院事業庁全体)

(税抜き 単位:百万円)

収益的収支	令和4年度	令和3年度	増減
病院事業収益	26,463	25,010	1,453
医業収益	18,605	18,289	316
医業外収益	7,649	6,451	1,198
附帯事業収益	209	266	△57
特別利益	0	4	△4
病院事業費用	24,769	24,397	372
医業費用	23,210	22,686	524
医業外費用	1,356	1,445	△89
附帯事業費用	203	266	△63
特別損失	0	0	0
当年度純損益	1,694	613	1,081
一般会計繰入金	4,786	4,018	768

①医業収益は、前年度に比べて316百万円増加

外来患者数の増加(2病院)や、地域医療機関との機能分担を通じた総合病院の平均在院日数の短縮(12.8日→11.7日)、入院単価の上昇(71,839円→74,201円)等により、新型コロナ対応で休床(84床)しているにもかかわらず医業収益は増加

②医業外収益は、前年度に比べて1,198百万円増加

年間を通じて新型コロナ患者の受入体制を確保したことにより、病床確保事業費補助金が449百万円増加(2,861百万円→3,310百万円)。また、政策医療の安定的な実施のため一般会計繰入金が増加(730百万円)

③医業費用は、前年度に比べて524百万円増加

人事委員会勧告を踏まえた給与改定や看護師等の処遇改善に伴う給与費の増(299百万円)、物価高騰に伴う光熱費や燃料費の増(161百万円)、薬品費の増(92百万円)

(3)各病院の状況

(税抜き 単位:百万円)

	総合病院		小児保健医療センター		精神医療センター		経営管理課	
		対前年度		対前年度		対前年度		対前年度
入院患者数(人)	132,888	△ 1,237	15,764	△ 1,396	29,889	△ 558		
外来患者数(人)	201,046	5,342	43,010	1,252	23,333	△ 235		
事業収益	20,326	856	4,034	569	1,989	3	221	53
医業収益	15,288	326	1,977	△ 50	1,228	14	216	53
うち入院収益	9,860	225	1,089	△ 87	897	15		
うち外来収益	4,643	148	749	29	198	△ 2		
医業外収益	5,038	534	1,848	676	761	△ 11	2	△ 1
附帯事業収益	-	-	209	△ 57	-	-	3	1
特別利益	0	△ 4	0	0	0	0	0	0
うち一般会計負担金	2,774	310	1,163	399	709	4	112	33
事業費用	19,299	361	3,311	△ 52	2,045	38	221	53
医業費用	18,118	421	2,981	36	1,998	41	217	53
うち給与費	8,910	205	1,636	7	1,399	28	202	59
うち薬品費	2,815	98	280	△ 6	89			
うち光熱水費・燃料費	502	138	73	9	57	15	1	0
うち減価償却費	1,490	13	175	3	148	△ 11		
医業外費用	1,181	△ 60	127	△ 25	47	△ 3	1	△ 1
うち企業債利息	197	△ 14	2		1	△ 4		
附帯事業費用	-	-	203	△ 63	-	-	3	1
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度経常損益	1,027	499	723	621	△ 56	△ 35	0	0
当年度純損益	1,027	495	723	621	△ 56	△ 35	0	0
当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 15,875	1,027	580	723	△ 401	△ 56		

※減価償却費には資産減耗費を含む

※(2)の収益的収支全体の金額は、病院と経営管理課間の資金移動を重複控除しているため(3)を合計した額とは一致しない。

①総合病院(令和2年度以降3年連続の黒字 純損益:1,027百万円)

令和4年度は、外来患者数の増加や、平均在院日数の適正化等による入院単価の上昇により、一般病床を休床するなど新型コロナ対応を継続する中で診療収益が増収となった。また、引き続き、重点医療機関として新型コロナ患者の受入と病床確保を行い、病床確保事業費補助金を受入れたことなど、結果として経常損益は1,027百万円の黒字となった。

㊦救急医療体制の充実

湖南圏域の二次救急輪番に参画する病院として、救急専門医師を常駐させ、看護師やメディカルスタッフとも連携して、救急車の受け入れ拡大に取り組んだ。

救急搬送件数 (R3) 2,648件 → (R4) 3,241件 (約1.2倍)

①高度・専門医療の提供

- ・県内初の半導体PET-CT装置を導入し、患者への負担を軽減しつつ、より高精度な検査を安定的に実施できるようになった。
- ・がんゲノム医療連携病院として、がん遺伝子パネル検査や遺伝カウンセリングなど最新の医療を提供した。
- ・手術用ロボット(ダヴィンチ)により、患者の身体的負担が少ない手術を実施した。

②地域医療連携の推進

- ・市立野洲病院、済生会守山市民病院等との協定に基づく病病連携の強化を図っており、患者の紹介や医師の派遣など行った。
- ・地域連携登録医の拡大に努めるとともに、近隣クリニック等の訪問を強化し顔の見える関係を築くことで、紹介・逆紹介率の向上を図った。また、感染対策の向上においても、地域の多くのクリニックや医師会と連携して取り組んだ。

①看護体制の充実

令和4年9月から夜間看護補助者の派遣業務委託契約を締結。病棟の配置人数を増員することで一層手厚い医療サービスを提供した。

②病院の広報PRの強化

総合病院が取り組む最新医療について、令和3年度に発行した冊子の内容を元に、ホームページ上において情報の発信を行った。患者自身が、総合病院の魅力、実施可能な検査や治療の概要について確かめられるようにした。

③新型コロナ後遺症外来の開設

令和5年3月15日に県内初となるコロナ後遺症外来を開設し、発症から2か月以上を経過してもなお症状が残っている患者の診察を行い、症状に応じて専門の診療科での治療を行った。

②小児保健医療センター（令和3年度に続き2年連続の黒字 純損益：723百万円）

- 令和4年度は年間を通じて重点医療機関として新型コロナ患者の受入と病床確保を行った結果、病棟の一部休止に伴い、入院収益は減少したが、外来収益の改善や病床確保事業費補助金の増収もあり、723百万円の黒字となった。
- アレルギー、内分泌代謝・糖尿病、発達外来の拡充や不明熱外来を新設し、医療の充実を図った。また、小児科外来チーム診療を推進のうえ、専門性を高め、効率的な運営を行うことで、予約・診療待ち時間の短縮につなげた。

③精神医療センター（令和2年度以降3年連続の赤字 純損益：△56百万円）

- 新型コロナの影響で患者数の回復が遅れており、また、コロナ患者用の病床確保に伴いベッドコントロールに制約がある中、医業収益は前年並みを確保した一方で、昨今の物価高騰等の影響による燃料費の高騰や人件費の増等により、医業費用は増加したことから、純損益は56百万円の赤字となった。
- 引き続き、アルコール等の依存症治療拠点機関として専門外来の設置や認知行動療法による治療プログラム等を実施した。
- 医師確保に向け、引き続き、滋賀医大等との連携強化、研修連携施設としての登録や人的ネットワークを駆使した働きかけ等を行うとともに、研修医の積極的な確保を図るため、「精神科専門医研修基幹施設」の認定申請に向けた準備を進めた。

(4)資本的収支の状況

①病院全体

(税込み 単位:百万円)

資本的収支	令和4年度	令和3年度	増減
資本的収入	1,335	1,401	△ 66
企業債	1,276	1,320	△ 44
補助金	22	49	△ 27
負担金	29	26	3
諸収入	8	6	2
資本的支出	3,481	3,425	56
建設改良費	1,430	1,471	△ 41
企業債償還金	2,051	1,954	97
当年度収支差	△ 2,146	△ 2,024	△ 122

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 2,146百万円は、損益勘定留保資金等で補填

②総合病院

(税込み 単位:百万円)

資本的収支	令和4年度	令和3年度	増減
資本的収入	1,264	1,223	41
企業債	1,232	1,171	61
補助金	7	24	△ 17
負担金	24	22	2
諸収入	1	6	△ 5
資本的支出	3,229	2,928	301
建設改良費	1,356	1,271	85
企業債償還金	1,873	1,657	216
当年度収支差	△ 1,965	△ 1,705	△ 260

○主な建設改良事業

病棟他空調設備改修工事、PET-CT装置、MRI装置、高圧蒸気滅菌器 等

③小児保健医療センター

(税込み 単位:百万円)

資本的収支	令和4年度	令和3年度	増減
資本的収入	69	162	△ 93
企業債	43	134	△ 91
補助金	15	25	△ 10
負担金	4	3	1
諸収入	7	0	7
資本的支出	208	321	△ 113
建設改良費	71	183	△ 112
企業債償還金	137	138	△ 1
当年度収支差	△ 139	△ 159	20

○主な建設改良事業

新型コロナウイルス感染症対策等に対応する医療機器、電動式骨手術装置 等

④精神医療センター

(税込み 単位:百万円)

資 本 的 収 支	令和4年度	令和3年度	増 減
資 本 的 収 入	2	16	△ 14
企 業 債	1	15	△ 14
補 助 金	0	0	0
負 担 金	1	1	0
諸 収 入	0	0	0
資 本 的 支 出	44	176	△ 132
建 設 改 良 費	3	17	△ 14
企 業 債 償 還 金	41	159	△ 118
当 年 度 収 支 差	△ 42	△ 160	118

○主な建設改良事業

医療用ベッド、薬用冷蔵ショーケース、AED

(5)比較貸借対照表

①病院全体

(税抜き 単位:百万円)

科目	令和4年度	令和3年度	増減	科目	令和4年度	令和3年度	増減
1.固定資産	30,447	31,031	△ 584	4.固定負債	24,804	25,704	△ 900
(1)有形固定資産	29,445	30,004	△ 559	(1)企業債	20,355	21,299	△ 944
①土地	6,181	6,181	0	(2)リース債務	39	92	△ 53
②建物	43,677	43,123	554	(3)退職給付引当金	4,410	4,313	97
減価償却累計額	△ 26,110	△ 25,135	△ 975	5.流動負債	5,864	5,972	△ 108
③構築物	1,328	1,328	0	(1)企業債	2,154	1,984	170
減価償却累計額	△ 957	△ 933	△ 24	(2)リース債務	52	52	0
④車両運搬具	9	9	0	(3)未払金	2,801	3,174	△ 373
減価償却累計額	△ 8	△ 8	0	(4)前受金	1	7	△ 6
⑤工具器具・備品	11,753	11,740	13	(5)賞与引当金	575	530	45
減価償却累計額	△ 8,771	△ 8,661	△ 110	(6)法定福利費引当金	111	100	11
⑥リース資産	236	236	0	(7)預り金	170	125	45
減価償却累計額	△ 106	△ 71	△ 35	(8)病院間貸借	0	0	0
⑦建設仮勘定	2,213	2,195	18	6.繰延収益	2,219	2,385	△ 166
(2)無形固定資産	4	4	0	(1)長期前受金	4,908	4,855	53
(3)投資	998	1,023	△ 25	収益化累計額	△ 2,700	△ 2,476	△ 224
①出資金	6	6	0	(2)建設仮勘定長期前受金	11	6	5
②長期前払消費税	992	1,017	△ 25	負債合計	32,887	34,061	△ 1,174
2.流動資産	9,316	8,212	1,104	7.資本金(固有資本金)	16,415	16,415	0
(1)現金預金	5,264	3,654	1,610	8.剰余金	△ 9,539	△ 11,233	1,694
(2)未収金	3,908	4,428	△ 520	(1)資本剰余金	6,158	6,158	0
(3)貸倒引当金	△ 28	△ 26	△ 2	①受贈財産評価額	6,114	6,114	0
(4)貯蔵品	116	146	△ 30	②寄附金	44	44	0
(5)前払金	56	10	46	(2)当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 15,697	△ 17,391	1,694
(6)その他流動資産	0	0	0	資本合計	6,876	5,182	1,694
(7)病院間貸借	0	0	0	負債資本合計	39,763	39,243	520
資産合計	39,763	39,243	520				

※①病院全体の額は、病院と経営管理課間の資金移動を重複控除しているため、各病院と経営管理課の合計額とは一致しない。

②総合病院

(税抜き 単位:百万円)

科目	令和4年度	令和3年度	増減	科目	令和4年度	令和3年度	増減
1.固定資産	23,910	24,224	△ 314	4.固定負債	23,054	23,871	△ 817
(1)有形固定資産	22,987	23,289	△ 302	(1)企業債	19,952	20,779	△ 827
①土地	2,976	2,976	0	(2)リース債務	39	92	△ 53
②建物	35,091	34,543	548	(3)退職給付引当金	3,063	3,000	63
減価償却累計額	△ 19,893	△ 19,079	△ 814	5.流動負債	4,975	5,621	△ 646
③構築物	763	763	0	(1)企業債	1,993	1,806	187
減価償却累計額	△ 519	△ 506	△ 13	(2)リース債務	52	52	0
④車両運搬具	5	5	0	(3)未払金	2,293	2,489	△ 196
減価償却累計額	△ 5	△ 5	0	(4)前受金	1	7	△ 6
⑤工具器具・備品	9,466	9,476	△ 10	(5)賞与引当金	408	387	21
減価償却累計額	△ 6,976	△ 6,982	6	(6)法定福利費引当金	79	74	5
⑥リース資産	236	236	0	(7)預り金	149	106	43
減価償却累計額	△ 106	△ 71	△ 35	(8)病院間貸借	0	700	△ 700
⑦建設仮勘定	1,949	1,933	16	6.繰延収益	1,198	1,316	△ 118
(2)無形固定資産	2	3	△ 1	(1)長期前受金	2,970	2,944	26
(3)投資	921	932	△ 11	収益化累計額	△ 1,783	△ 1,634	△ 149
①出資金	3	3	0	(2)建設仮勘定長期前受金	11	6	5
②長期前払消費税	918	929	△ 11	負債合計	29,227	30,808	△ 1,581
2.流動資産	3,808	4,048	△ 240	7.資本金(固有資本金)	11,416	11,416	0
(1)現金預金	445	490	△ 45	8.剰余金	△ 12,925	△ 13,952	1,027
(2)未収金	3,242	3,468	△ 226	(1)資本剰余金	2,950	2,950	0
(3)貸倒引当金	△ 25	△ 24	△ 1	①受贈財産評価額	2,907	2,907	0
(4)貯蔵品	90	104	△ 14	②寄附金	43	43	0
(5)前払金	56	10	46	(2)当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 15,875	△ 16,902	1,027
(6)その他流動資産	0	0	0	資本合計	△ 1,509	△ 2,536	1,027
(7)病院間貸借	0	0	0	負債資本合計	27,718	28,272	△ 554
資産合計	27,718	28,272	△ 554				

③小児保健医療センター

(税抜き 単位:百万円)

科目	令和4年度	令和3年度	増減	科目	令和4年度	令和3年度	増減
1.固定資産	1,982	2,101	△119	4.固定負債	1,038	1,089	△51
(1)有形固定資産	1,948	2,058	△110	(1)企業債	311	395	△84
①土地	643	643	0	(2)リース債務	0	0	0
②建物	3,471	3,464	7	(3)退職給付引当金	727	694	33
減価償却累計額	△2,845	△2,798	△47	5.流動負債	546	741	△195
③構築物	108	108	0	(1)企業債	127	137	△10
減価償却累計額	△98	△98	0	(2)リース債務	0	0	0
④車両運搬具	1	1	0	(3)未払金	309	507	△198
減価償却累計額	△1	△1	0	(4)前受金	0	0	0
⑤工具器具・備品	1,669	1,636	33	(5)賞与引当金	82	71	11
減価償却累計額	△1,263	△1,160	△103	(6)法定福利費引当金	16	13	3
⑥リース資産	0	0	0	(7)預り金	12	13	△1
減価償却累計額	0	0	0	(8)病院間貸借	0	0	0
⑦建設仮勘定	263	263	0	6.繰延収益	83	66	17
(2)無形固定資産	1	1	0	(1)長期前受金	215	189	26
(3)投資	33	42	△9	収益化累計額	△132	△123	△9
①出資金	1	1	0	(2)建設仮勘定長期前受金	0	0	0
②長期前払消費税	32	41	△9	負債合計	1,667	1,896	△229
2.流動資産	3,418	2,805	613	7.資本金(固有資本金)	2,510	2,510	0
(1)現金預金	2,656	1,464	1,192	8.剰余金	1,223	500	723
(2)未収金	445	708	△263	(1)資本剰余金	643	643	0
(3)貸倒引当金	△1	△1	0	①受贈財産評価額	643	643	0
(4)貯蔵品	18	34	△16	②寄附金	0	0	0
(5)前払金	0	0	0	(2)当年度未処分利益剰余金	580	△143	723
(6)その他流動資産	300	300	0	(△:未処理欠損金)			
(7)病院間貸借		300	△300	資本合計	3,733	3,010	723
資産合計	5,400	4,906	494	負債資本合計	5,400	4,906	494

④精神医療センター

(税抜き 単位:百万円)

科目	令和4年度	令和3年度	増減	科目	令和4年度	令和3年度	増減
1.固定資産	3,004	3,154	△150	4.固定負債	660	698	△38
(1)有形固定資産	2,960	3,105	△145	(1)企業債	92	125	△33
①土地	1,011	1,011	0	(2)リース債務	0	0	0
②建物	5,116	5,116	0	(3)退職給付引当金	568	573	△5
減価償却累計額	△3,372	△3,258	△114	5.流動負債	320	285	35
③構築物	456	457	△1	(1)企業債	34	41	△7
減価償却累計額	△339	△329	△10	(2)リース債務	0	0	0
④車両運搬具	2	2	0	(3)未払金	188	156	32
減価償却累計額	△2	△2	0	(4)前受金	0	0	0
⑤工具器具・備品	619	627	△8	(5)賞与引当金	76	66	10
減価償却累計額	△531	△519	△12	(6)法定福利費引当金	14	13	1
⑥リース資産	0	0	0	(7)預り金	8	9	△1
減価償却累計額	0	0	0	(8)病院間貸借	0	0	0
⑦建設仮勘定	0	0	0	6.繰延収益	938	1,003	△65
(2)無形固定資産	1	1	0	(1)長期前受金	1,723	1,722	1
(3)投資	43	48	△5	収益化累計額	△785	△719	△66
①出資金	1	1	0	(2)建設仮勘定長期前受金	0	0	0
②長期前払消費税	42	47	△5	負債合計	1,918	1,986	△68
2.流動資産	2,015	1,989	26	7.資本金(固有資本金)	2,490	2,490	0
(1)現金預金	984	922	62	8.剰余金	611	667	△56
(2)未収金	225	260	△35	(1)資本剰余金	1,013	1,013	0
(3)貸倒引当金	△2	△2	0	①受贈財産評価額	1,013	1,013	0
(4)貯蔵品	8	9	△1	②寄附金	0	0	0
(5)前払金	0	0	0	(2)当年度未処分利益剰余金	△402	△346	△56
(6)その他流動資産	800	400	400	(△:未処理欠損金)			
(7)病院間貸借	0	400	△400	資本合計	3,101	3,157	△56
資産合計	5,019	5,143	△124	負債資本合計	5,019	5,143	△124

⑤経営管理課

(税抜き 単位:百万円)

科目	令和4年度	令和3年度	増減	科目	令和4年度	令和3年度	増減
1.固定資産	1,551	1,551	0	4.固定負債	52	46	6
(1)有形固定資産	1,551	1,551	0	(1)企業債	0	0	0
①土地	1,551	1,551	0	(2)リース債務	0	0	0
②建物	0	0	0	(3)退職給付引当金	52	46	6
減価償却累計額	0	0	0	5.流動負債	1,130	736	394
③構築物	0	0	0	(1)企業債	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0	(2)リース債務	0	0	0
④車両運搬具	0	0	0	(3)未払金	10	22	△12
減価償却累計額	0	0	0	(4)前払金	0	0	0
⑤工具器具・備品	0	0	0	(5)賞与引当金	10	6	4
減価償却累計額	0	0	0	(6)法定福利費引当金	2	1	1
⑥リース資産	0	0	0	(7)預り金	1,108	707	401
減価償却累計額	0	0	0	(8)病院間貸借	0	0	0
⑦建設仮勘定	0	0	0	6.繰延収益	0	0	0
(2)無形固定資産	0	0	0	(1)長期前受金	0	0	0
(3)投資	0	0	0	収益化累計額	0	0	0
①出資金	0	0	0	(2)建設仮勘定長期前受金	0	0	0
②長期前払消費税	0	0	0	負債合計	1,182	782	400
2.流動資産	1,182	782	400	7.資本金(固有資本金)	0	0	0
(1)現金預金	1,179	779	400	8.剰余金	1,551	1,551	0
(2)未収金	3	3	0	(1)資本剰余金	1,551	1,551	0
(3)貸倒引当金	0	0	0	①受贈財産評価額	1,551	1,551	0
(4)貯蔵品	0	0	0	②寄附金	0	0	0
(5)前払金	0	0	0	(2)当年度未処分利益剰余金	0	0	0
(6)その他流動資産	0	0	0	(△:未処理欠損金)			
(7)病院間貸借	0	0	0	資本合計	1,551	1,551	0
資産合計	2,733	2,333	400	負債資本合計	2,733	2,333	400

2. 令和5年度の主な取組

将来に向けた検討	総合小児	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和7年1月の総合病院と小児保健医療センターの統合に向けて、令和4年度に引き続き詳細な検討を行い、令和5年度中に具体的な取組をまとめる。 ○ 病院統合を見据え、医療資源の集約化、医師等の協働体制の構築、既存施設の有効活用等の点から、小児保健医療センター再整備事業に係る計画の見直しを行う。
	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合病院と小児保健医療センターの統合に向けた取組や小児保健医療センター再整備事業に係る計画の見直し結果等を踏まえ、公立病院経営強化プランとして第5次中期計画の改定を行う。
医療機能の向上	総合	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高度急性期医療に対応する施設の再編整備を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICU（集中治療室）の拡張 ・ がん診療の質の向上ならびに治療に係る患者負担の軽減を図るため、放射線治療棟および放射線治療装置の整備を行う。 ○ 「研究所」を「臨床研究センター」へと改組し、県民の健康確保のための医療に貢献する臨床研究に取り組む。 ○ 臨床検査の品質管理、技術、信頼性等の向上を図るため、ISO15189の取得に向けた取組を進め、がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療をはじめとした安全で質の高い先進医療を提供する。 ○ 医療機能の向上、患者サービスの充実、収益拡大の観点から、医師・看護師・医療技術職を増員し、体制の強化を図る。
	小児	<ul style="list-style-type: none"> ○ 需要が多いアレルギー科、内分泌代謝・糖尿病科で複数医体制を確保し、外来診療枠の増設と負荷試験の検査入院を推進する。
	精神	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内の精神科専門医の研修受入体制の強化および精神医療センターの診療体制の充実を図るため、「精神科専門医研修基幹施設」の認定取得に向けた取組を進める。
収支改善の取組	総合	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合物品管理（SPD）システム事業者と連携した診療材料や医薬品の廉価調達の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 在庫縮減（手術室、病棟等）、品目整理による価格交渉力の向上 ・ 契約品目の変更等（同種同効品の統一化、ベンチマークによる品目切替・価格交渉） ・ 医薬品の後発品等への切替
	総合小児	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病院統合に向けた委託契約等の一本化を通じたコスト縮減の検討